

ボランティアコンサート

当院では定期的に患者さんや地域の皆様を対象としたボランティアコンサートを開催しています。ピアノリサイタル、ギター、お琴、オカリナ、日本舞踊、フラダンス、語り部、太鼓など実に多種多彩で、『癒やし』を提供しています。

さて、今回の表紙を飾っているのは、当院の実習にきております宮城県白石市「白石高等学校マンドリン部」の生徒さん達です。マンドリンと言えば、琵琶を半分に切ったような形で、はかなげな独特の音色に惹かれます。古代の歴史を紐解きますと、17世紀頃イタリアで生まれたマンドリンは、ナポリを中心地として発展して、南イタリア由来のエキゾチックな、そしてセレナーデを奏でるロマンチックな楽器として広まっていったそうです。日本においてもマンドリンの音色は、多くの人に愛されてきました。

曲目は、晩秋を漂わせる夕刻にぴったりの曲を選曲して下さいました。1曲目は坂本冬美さんの“また君に恋してる”。続いてテレビドラマ「ひよっこ」主題歌の“若い広場”、ジブリ映画の千と千尋の神隠しの主題歌“いつも何度でも”、同じくとなりのトトロの挿入歌“風の通り道”、テレビドラマ白線

流し主題歌スピッツの“空も飛べるはず”の5曲を生徒さんの軽快な曲紹介で和やかな時間を

過ごしました。最後は会場からアンコールがかかり、スペイン民謡の“スペインの花”を演奏して下さいました。どこかで聴いたことがあるこの民謡…日本の古賀政男氏が昭和初期歌謡曲に“東京ラブソディ”として取り入れた原曲だそうです。聴きにきて下さった患者さんも、マンドリンの優しく柔らかく、そして暖かみのある音色に魅了されていました。

白石高等学校マンドリン部は、創部から52年という歴史ある部です。今後のさらなる活躍を期待したいと思います。

私たち職員も患者さんのため、さらに地域の皆様のために、ボランティアコンサートを企画して参りたいと思います。ぜひ、発表の場が欲しいという方がございましたら、当院総務課までご一報戴きたいと思います。宜しくお願いします。



第8回 オレンジカフェ

オレンジカフェは、認知症の人とその家族、介護職の方、地域の方、どなたでも参加できる場所です。

お飲み物やお菓子も準備しております。

何でも話せる息抜きの場として、情報交換の場としてお気軽にご参加下さい。

日時：平成30年1月10日(水) 10時～11時

場所：オレンジハウス（1階売店向かい）

会費：無料

予定：①知ってなっとく「体内時計」

②認知症予防体操

③オレンジカフェ

第57回

元気セミナー

今回の
お話

「時機を見た「カラダづくり」で健幸華齢へ」

講師：院長 堀川 哲男 日時：平成30年1月25日(木) 午後4時

場所：公立藤田総合病院 総合受付前 ホール・シャングリラ

健診の予約・お問い合わせ

受付
時間

月～金曜日(祝日は除く)
8:30～12:30 13:30～17:00

来院の場合

病院案内へお越しください。

電話の場合

健康管理センター 024-585-2121(内線2800)

編 集
後 記

藤田病院だより第58号をお届けいたします。

12月になり、そろそろインフルエンザが本格的に猛威を振り始める時季になりました。当院のホームページに「インフルエンザについて～インフルエンザってどんな病気?～」というページがあります。予防方法等が掲載されていますので、ぜひご覧下さい。

藤田病院だより

年4回(2月・5月・8月・11月)発行予定

 発行／編集：公立藤田総合病院 住所：伊達郡国見町大字塚野目字三本木14 TEL 024-585-2121 <https://fujita-hp.jp/>

 ボランティアコンサート
 『白石高等学校マンドリン部』

もくじ

- p. 2 最新の内視鏡機器導入
世界糖尿病デー
- p. 3 白藤祭の開催について
義経まつり
- p. 4 ボランティアコンサート
第8回オレンジカフェのお知らせ
第57回元気セミナーのお知らせ
編集後記

 公立
 藤田総合
 病院

理念・基本方針

私たちは、患者さん中心の医療を行います

- ◆私たちは、地域社会との連携を図りながら、地域の人々の医療・保健・福祉の向上に貢献します。
- ◆私たちは、医療水準の向上に努め、患者さんに良質で安心できる医療を提供します。
- ◆私たちは、健全な経営に務め、活力に満ちた働きがいのある病院を目指します。

●紙面に掲載されている内容・写真等を目的外で使用したり、複製・印刷する事を禁止します。

最新の内視鏡システムを導入しました

当科では、平成29年8月に、最新の電子式超音波内視鏡システムを導入しました。通常の内視鏡は、消化管（食道や胃、腸）の表面を観察しますが、超音波内視鏡は、膵臓や胆のう・胆管、消化管の粘膜の下にできる腫瘍（粘膜下腫瘍）を、内視鏡の先端に付いた超音波を使って観察することができます。おなかの外から当てる通常の超音波検査に比べると、目標のすぐ近くから超音波を当てるため、より鮮明に観察することができます。また、内視鏡の先端から出した針で穿刺し、細胞を採取してきて顕微鏡で調べる事もできます。ただし、内視鏡は最大14mmと太いため、静脈麻酔をかけて行います。

膵臓がんになっても 早期に見つければ助かります

さて、近年、膵臓がんになる患者さんが増加しています。2015年には、全国で約3万2,000人が膵臓がんで亡くなっており、がんによる死因としては、肺がん、胃がん、大腸がんに次いで第4位となっています。にもかかわらず、膵臓がんでは、残念ながら検診システムが確立されていません。そのため、病気が進行してから発見されるケースが珍しくなく、予後は全ての悪性腫瘍の中で最も悪く、5年生存率は10%以下となっています。一方で、10mm以下で早期発見され、適切な治療を受けた場合は、5年生存率は80%と良好であり、「助かる病気」なのです。そして超音波内視鏡検査は、10mm以下の膵臓が

んの描出能力は84~100%であり、膵臓がんの早期発見において、最も感度が優れた検査といわれています。

心配な方は当院消化器科へ

腹痛や黄疸などの症状がある方はもちろんですが、膵臓がん発症リスクの高い方（家族内に膵臓癌の発生がある方、糖尿病の方、肥満体型の方、お酒を大量に飲む方、喫煙者）は、当院の消化器科を受診してみてもはいかがでしょうか。



11月14日は 世界糖尿病デー

~知ってつなごう糖尿病のこと~

糖尿病看護認定看護師 小田 真由美

世界糖尿病デーは、世界的に拡大している糖尿病に対する注意喚起を目的に制定され、全世界で繰り広げられる糖尿病啓発イベントは、糖尿病予防や治療継続の重要性について地域の皆様に周知する重要な機会となっています。現在、日本を含め世界の糖尿病人口は4億2,500万人となり増え続けています。このことは、初期の糖尿病では自覚症状が少ないこと、また、糖尿病の疑いがありながらそのまま治療を受けないことや治療中断してしまうケースが多いことが要因と考えられています。そのため、当院では、糖尿病重症化予防を目的とし11月14日に世界糖尿病デーのイベントを開催しました。今年で9回目となるこのイベントは、毎年地域の皆様に糖尿病重症化予防について考えてもらえるように思考

を凝らしながら多職種スタッフが一致団結し組取り組んでおります。

イベント会場では、測定コーナー、展示コーナー、相談コーナーを設け、多くの方々に足を止めていただきました。測定コーナーでは、メタボ確認ベルトで腹囲の測定から始まり、血糖測定、血圧測定を行い、展示コーナーでは、各種パンフレットを準備し、糖尿病合併症でもある歯周病や当院における糖尿病治療状況などを展示し説明を行いました。相談コーナーでは、検査技師が血糖値や測定コーナーで得られた情報より療養相談を行い、看護師は、「糖尿病から足を守る」ため爪の切り方や足のケアの大切さについて熱くお伝えしました。栄養士は、「これなら続く食事療法」と題してランチョンマットを使いバランスのとれた食事、間食や低カロリー食など生活に即した食事療法について説明しました。理学療法士は、リハビリ自助具の紹介と使い方について、薬剤師は楽しく糖尿病について知ってもらおうとクイズ形式で知識を提供しました。スタンプラリーで全てのコーナーを参加した後は、佐藤啓二先生より修了証と参加賞が手渡されました。2時間ほどの開催時間の中で、63名の参加があり「勉強になった、家族にも教える」など声をかけていただきイベントは大盛況に終わることができました。

糖尿病重症化予防には早期発見と治療の継続が重要な鍵となります。「世界糖尿病デー」のイベントを通して、糖尿病重症化予防がたくさんのの方々に広まることを願っています。



糖尿病改善委員会・糖尿病ワーキングスタッフ一同

白藤祭の開催について



当院では毎年11月に患者さん、地域の方々、当院OB、職員から出品して頂き作品の展示を行う『白藤祭』を行っています。

今年は11月15日（水）～17日（金）の3日間にかけて開催され、会場のホールシャングリラが華やかに彩られ、患者さんや来院された方々、職員の目を楽しませてくれました。

白藤祭のポスターの基となっている色彩豊かなファンタジー感あふれるイラストは、2013年からストーリーが続いておりましたが、今年で完結となりましたが、作者様の次回シリーズに期待せざるを得ません。

また、繊細で美しい『切り絵折り紙』、旅情溢れる写真、綺麗な光を放つ陶器のランプと会場は美術館さながらになりました。

その他にも、芸術性に富んだ書や生け花、手作りの手芸

品など数多く出品いただきました。

毎年11月の初旬から中旬にかけて作品の募集をしています。どなたでも出品可能です。ご興味の方は、是非、ご出品ください。



義経まつり

義経公行列に参加することになった9月23日。

集合場所である観月台文化センターに到着すると、既に正面の屋外ステージは大盛り上がり。ホールには既に多くの老若男女の出演者達が集まっていました。

早々と着替えを済ませた方々を見回しながら、一人であれを着るのかなぁ、と思っていると、待ち構えていたスタッフの方々に衣装や甲冑を着せていただき、言われるがままにしているだけであっという間に女武者へと変身すると、いざ、義経と静御前の待つ鹿島神社へ。身の丈より高い旗を片手に神社までの道のりを履き慣れない草履で歩いていると、行列見物の人々がちらほらと集まってきていて、「がんばれよー」という声援を受け、久々になんだかくすぐったい気持ちになりました。

今回義経役をされた西銘駿さんのその肌の綺麗さや顔の小ささに驚いたのも束の間、今度は美しい静御前のご登場。争奪戦だと聞いていた静御前、勝ち取った女傑はどんな方かと思えば、華奢でかわいい女性ではありませんか！「手持ちぶさたなんです」と声をかけて下さった静御前からいろいろお話を聞きますれば、西銘さんのファンで、はるばる愛知からいらっしゃったということで、なんともびっくりいたしました。念願叶えて西銘義経の隣に楚々と座る静御前の後ろに控え、回るテレビカメラを前に義経の凜とした声音で主命が下ると、待っていたとばかりに鬨の音が上がり、いざ出陣！

隊列の流れに乗って商店街を練り歩けば、西銘さんには女性以外に子どもたちからも歓声が投げかけられ、静御前にはその可憐さを賛美する声だけでなく、争奪戦を見事勝ち抜いたその手腕への賞賛の声も上がってのなんとも大賑わいな義経公行列でありました。

歩き出せばあっという間で、私も沿道から見知った顔の応援を浴びつつお役目を果たしてまいりました。普段生活しているだけでは出来ない貴重な体験が出来ますので、日常に刺激がほしい方は是非来年ご参加ください。

